

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

2021 No.550

Network 10 / 1

Now

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第37回 日本診療放射線技師学術大会 開催概要 (Web併催)

37th JCRT / 23rd AACRT / 28th EACRTについて

37th JCRTは、開会式・特別講演・分科会企画・ランチョンセミナー・モーニングセミナーなど、多くの企画をWeb配信する予定で、会場に来られない方も十分にWebサイトで学会を堪能できます。またWeb口述発表は地元（施設・自宅）にしながら質疑応答も可能です。

23rd AACRT / 28th EACRTはWeb開催となりましたが、会場では海外サイトを設け、雰囲気味わっていただく予定であります。海外サイトに入るためにはAACRT / EACRTサイトから参加登録をお願いします。

Web参加でも会場参加と同様の内容です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

ごあいさつ

大会テーマ

『国民と共にチーム医療を推進しよう』

『技術の多様性と人の調和』



大会長 篠原健一

来る2021年11月12日(金)から14日(日)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて第37回日本診療放射線技師学術大会、第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会(23rd AACRT)、第28回東アジア学術交流大会(28th EACRT)を開催致します。

残念ながら、現在の新型コロナウイルス感染拡大により、海外から来日しての参加については取りやめとなりましたが、一部対面参加型、一部オンライン(ライブ配信+オンデマンド方式)でのハイブリッド開催として準備を進めてまいりました。特別講演・教育講演・シンポジウム・JART分科会企画・共催セミナーなど、幅広い人材育成・情報交換の場となれば幸いです。

経験のない方式や、先の見えない感染症対応、状況の変化などの要素によるさまざまな制約により、会員の皆さまには多くの点でご不便をお掛けするかもしれませんが、可能な限り、従来の学会発表や各種講演・セミナーを開催し、その上で今後の社会に向けた新たな方法や可能性を探っていきたいと思っております。われわれと共に未来に向けて挑戦しようではありませんか。

一昨年の6月に、東京で関東甲信越診療放射線技師学術大会を開催しました。テーマは「つながる医療 つなげる“和” One for all, All for one (一人はみんなのために みんなは一つの目的のために)」でした。その時にみんなで共有した思いも継承したつもりです。日本の心につながる“和”、江戸から東京につながっているさまざまなもの・場所・文化にも、大いに興味を持っていただければと思っています。

多くの皆さまのご参加・ご参画・ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

第37回日本診療放射線技師学術大会 TOPICS

市民公開講座・特別企画・シンポジウム

◆タスク・シフティングに関するシンポジウム

本シンポジウムでは、タスク・シフト/シェアの概要と法令改正の経緯、本会の取り組みと告示研修の実施、他団体の活動、診療放射線技師の実践例について取り上げていただきます。

本会の告示研修とその運用について具体的に説明していただき、タスク・シフト/シェアの意義や診療放射線技師に期待されるタスクを、日常業務の中でいかに安全かつ効果的に運用して、チーム医療に貢献するかを考える機会になれば幸いです。

◇11月12日(金) 13時55分～15時55分

【第1会場】 チーム医療推進事業

『診療放射線技師へのタスク・シフト/シェア推進と課題』

◆特別企画 JART-JSRT 合同シンポジウム

米国医学物理学会 (AAPM) や米国放射線学会 (ACR)、米国放射線防護審議会 (NCRP) などの生殖腺防護の中止勧告により、世界的に性腺防護は行わない動きが出ています。

JARTおよびJSRTより関連する委員会や検討班の皆さまを迎え、生殖腺防護について現状の問題点や今後の取り組みなどのご意見を伺いたいと思います。

◇11月13日(土) 13時40分～14時45分 【第1会場】 JART-JSRT 合同シンポジウム

『生殖腺 (性腺) 防護について考える』

◆シンポジウム東日本/市民公開講座

東日本大震災から10年…2011年3月11日14時46分、東日本を襲ったマグニチュード9.0の大地震。発生と同時に福島原子力発電所にも大きな被害が発生。全国から多くの診療放射線技師が現地に駆け付けました。その中で、日本診療放射線技師会でも住民サーベイ活動のため、3月16日より現地に12人の診療放射線技師を第1陣として送り込みました。

一方、われわれの行動と災害の記憶は時とともに薄れていきます。風化させないため、放射線災害への取り組みと災害の復興について企画しました。

◇11月13日(土) 14時50分～16時20分 【第1会場】 シンポジウム東日本

『風化させないために～「東海村」JCO 臨界事故」「福島第一原子力発電所事故」』

◇11月13日(土) 16時20分～17時20分 【第1会場】 市民公開講座

『東日本大震災の津波から10年、復興支援のNPO活動からの提言』

第37回
日本診療放射線技師学術大会
37th Japan Conference of Radiological Technologists
第23回 アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23rd AACRT)
第28回 東アジア学術交流大会 (28th EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

技術の多様性と人の調和
Diversity of technology and Harmony of people

■ 2021年11月12日(金) ▶ 14日(日)
■ 東京ビッグサイト

Hybrid
〈Web併用〉

会長
President
上田 克彦 Katsuhiko UEDA
公益社団法人 日本診療放射線技師会会長

大会長
Chairman
篠原 健一 Kenichi SHINOHARA
公益社団法人 東京都診療放射線技師会会長

■ 運営事務局
公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://web.apollon.nta.co.jp/37jart/>
E-mail: taikai2021@tart.jp

主催 公益社団法人 日本診療放射線技師会
共催 公益社団法人 東京都診療放射線技師会
後援 厚生労働省(予定)
東京都(予定)

お知らせ

大会参加登録の締め切りが2021年10月15日(金)まで延長になりました。
多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

充実したWebコンテンツ

ハイブリッド開催のため、Webサイトでしか見られないコンテンツがあります。

Web企画「ワンコインセミナー」は、26のコンテンツから構成されております。東京都診療放射線技師会では毎年多くのセミナーを開催しており、現場に即応できるセミナーなどを中心に開催してきました。今回は過去のセミナーより厳選したテーマをお届けしようと思います。具体的には、疾患・装置・医療環境を中心に15分前後の動画を配信致します。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染を危惧して学会への参加をためらう方も少なくないかと思いますが、充実したWebサイトにも注目していただき、ぜひご覧ください。

Webプログラム 2021年11月12日(金)～12月14日(火)

企 画	テ ー マ
医療安全対策委員会	タスク・シフトを医療安全から見る（静脈路確保業務）
業務改善推進委員会	人材育成システムの報告 ～働き方改革時代の時間管理のなかで～
広報委員会・放射線治療分科会 合同企画	がん対策の推進について ～IMRT均てん化に向けた技師・物理士の協働～
消化管画像分科会	消化管造影検査が診断に有効であった症例 ―検査技術と画像所見―
2021年度 日本医用画像管理学会 第2回学術大会	AIを活用した医用画像管理の未来
東京都診療放射線技師会 学術・教育 合同企画	ワンコインセミナーWeb in 37 th JCRT （26コンテンツからなるショートレクチャー） ※下表のコンテンツを参照
南関東FRT	男性技師が育休・時間休を取得できる未来

※会場プログラムは2021年11月24日(水)〔一部、11月12日(金)〕から12月14日(火)まで閲覧が可能

※閲覧は参加登録後、専用のID/パスワードにより可能

ワンコインセミナーWeb in 37th JCRT

I	疾患を知り己を知る ―急性期疾患を中心に―	II	装置を知り己を知る ―良質な検査を求めて―	III	医療を知り己を知る ―患者から信頼される医療職―
I-1	脳出血・くも膜下出血	II-1	夜勤で困らないためのCT検査の基礎知識	III-1	技師会（診療放射線技師）の取り組み・役割・方針
I-2	脳梗塞	II-2	実践造影CT検査	III-2	社会人として
I-3	肺炎の基礎を学ぶ	II-3	MRIの基礎（T ₁ ・T ₂ とは）	III-3	接遇
I-4	学び直そう！大動脈解離の基礎知識	II-4	MRI装置（安全管理）	III-4	感染対策
I-5	急性胆のう炎（胆石症）	II-5	一般撮影（正しい胸部撮影）	III-5	医療安全（ヒューマンエラーを中心に）
I-6	急性肺炎における画像診断の重要性	II-6	一般撮影画像処理の基本的な考え方		
I-7	急性虫垂炎の画像診断	II-7	乳腺撮影（患者心理）		
I-8	改めて知ろう腎結石・尿管結石	II-8	超音波検査の基礎		
I-9	腸閉塞の画像診断と診療放射線技師の役割	II-9	血管撮影室における線量管理の実践		
I-10	血液検査値	II-10	核医学の基礎		
		II-11	放射線被ばく		

第37回日本診療放射線技師学術大会プログラム

11月12日(金)

◆大会二日目

11月13日(土)

◆大会一日目

11月14日(日)

◆大会二日目

Table with columns for venue, room, capacity, purpose, and time slots (8:30-12:00) for three consecutive days (Nov 12-14). It details various sessions including seminars, symposiums, and technical displays.

義務研修

あなたの 診療放射線技師免許 アップデート が必要です!!

新たな業務をつかみ撮れ。



© 横幕智裕・モリタイシ/集英社
「ラジエーションハウス」集英社 グランドジャンプにて連載中

医師の働き方改革を推進するため、医師から診療放射線技師への
タスク・シフティングにより診療放射線技師の業務が拡大されます。

あなたの診療放射線技師免許アップデートが必要です!!

画像検査のプロ集団として、国民のために診療放射線技師籍登録者全員が
受講しなければならない告示研修会（義務研修）が開催されます。



詳しくは JART 特設サイトへGo!

URL http://www.jart.jp/activity/kokujikousyuu_2021.html

上田会長と畦元衆議院議員との対談 行われる (Web対談)

2021年8月20日(金)、上田会長と畦元将吾衆議院議員とのWeb対談が行われた。昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行により、われわれの生活や医療体制も大きく変化し、またここ数年、診療放射線技師に関係する法律についても相次いで改正されており、これらの法改正やわれわれを取り巻く環境の変化など、今後の診療放射線技師の未来像などについて、対談の機会が設けられた。

具体的には、新型コロナウイルス感染症について、診療放射線技師の国会でのアピール、診療放射線技師法改正の経緯、法改正のプロセス、今後の展望など、非常に興味深い内容であった。特に、医療現場の環境改善(将来を見据えて)については、具体的な展望が示された。詳細は本会誌10月号に掲載されるので、ぜひともご拝読いただきたい。



畦元衆議院議員への感謝状贈呈 執り行われる

2021年9月3日(金)、診療放射線技師の国民医療への貢献に資する診療放射線技師法改正について多大な貢献を頂いたこと、また本会への助言・指導をたゆまなく頂いたことに対して、上田会長より畦元将吾衆議院議員に対して感謝状の贈呈が行われた。

表彰式は畦元議員の事務所(衆議院第一議員会館)で執り行われ、本会より上田会長と江端理事が訪問するかたちで表彰状を贈呈した。

上田会長より、法改正に寄与された畦元議員の活躍に感謝と労をねぎらう言葉が送られると、畦元議員は「診療放射線技師が活躍することが国民医療に資すると強く感じている。今後も日本診療放射線技師会と共に歩んで、国政の場で職能団体の要望・要求を発信し続けていきたい」と力強く述べられた。

その後、懇談となり、国政の近況について意見交換を行った。懇談中に畦元議員を応援するサポーターの訪問があり、

会長共々意見交換するというハプニングもあった。

今回の法律・省令の改正では、畦元議員のご活躍があってこそ診療放射線技師の名前が国会や記者会見でも繰り返しメディアに流れることになり、これまで正式な職名を知らなかった国会議員も、最近は間違わずに言えるようになったという話も伺えた。

また全国の診療放射線技師からの生の声を畦元議員が直接受けるプランについても紹介され、その際には日本診療放射線技師会からも広報にご協力いただきたいとの依頼があった。

法律改正という仕事は多くの人々がエネルギーを注がなければ成し遂げられない事業であり、このタイミングで診療放射線技師の国会議員が厚生労働部会副会長でいらしたという幸運を一時的なものにしてはならない。間もなく訪れる選挙でのご活躍を願いつつ、表彰式一連を終了した。



新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた 本会主催の講習会などの対応方針について

政府が定めた「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」(2020年3月28日(2020年5月25日変更)新型コロナウイルス感染症対策本部決定)において示されている持続的な対策を見据え、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020年5月14日 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議)を参考に、本会として感染拡大防止に向けて慎重に検討した上で、2020年度第4回理事会(2020年7月4日開催)で審議を行い、本会における「会場型講習会開催ガイドライン(新型コロナウイルス感染対策)」を作成し、対応してきました。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種が進みながらも変異株が広がるなど状況も変化しており、取り組みを見直す必要性が生じていることから、2021年9月にガイドラインの改訂を行いました。

本会主催の講習会などの対応方針は以下の通り。

1. 本会主催の講習会などは、実技、試験を伴わないものについては、Web開催を強く奨励します。

2. 本会主催の講習会などは、「会場型講習会等開催ガイドライン(新型コロナウイルス感染症対策)」にのっとり感染対策を徹底した上で開催することと致します。
3. 各地域と共催で開催するフレッシュャーズセミナーなども「会場型講習会等開催ガイドライン(新型コロナウイルス感染症対策)」にのっとり開催することと致します。ただし、地域差を考慮し、開催の最終判断は各地域と致します。
4. 対応方針、ガイドラインなどは、今後も状況に応じて変更していきます。

ガイドラインの内容は、感染防止のための基本的な考え方や開催者が講じるべき具体的な対策が記載されており、本会主催の講習会などの対応方針が示されています。講習会の開催を行う会員の皆さまには本ガイドラインを参考にさせていただきたいと思っております。

全文は、本会会誌10月号およびホームページに掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

「Journal of JART –English edition–」 J-STAGE掲載開始のお知らせ

INFORMATION

2015年より年1回発行しておりました「Journal of JART –English edition–」を、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に掲載致します。J-STAGEは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。今後はJ-STAGEを利用して、掲載されました論文を会員内外に広く発信致します。

2021年10月1日より閲覧開始となりますので、論文検索など有効にご活用ください。

本会への入会手続きについて(お知らせ)

INFORMATION

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ(<http://www.jart.jp>)から“新規入会はこちら”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL: 03-4226-2211 E-mail: info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

JART求人広告掲載について

INFORMATION

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

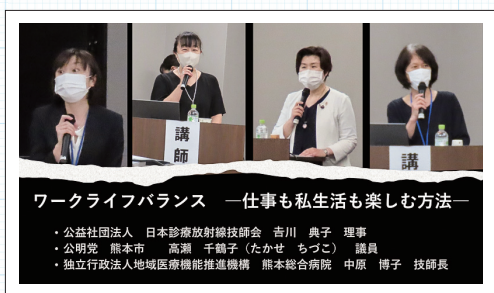
第7回 業務改善推進委員会 九州地域 報告記 (Friendly Radiological Technologists 九州)

FRT九州 代表 中島 佳子

2021年7月31日(土)、第7回FRT九州研修会を熊本城ホールで開催致しました。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない状況下ではありましたが、できる限り会場型の研修会を開催したいとの思いもあり、現地開催とさせていただきます。そのような中ではありましたが、46人の方々にご参加いただき、感謝しております。



教育講演では、熊本大学病院の清水紀恵先生に「乳房検査について～マンモとエコー総合判定を含めて～」と題してご講演いただきました。マンモグラフィ・乳房超音波検査の基本的な内容から、日常によく遭遇する病変の見え方、最後は併用検診における総合判定の具体的な進め方などを学ぶことができました。臨床検査技師さん、看護助手さんの参加もあり、他職種の興味もそそるとても素晴らしい教育講演でした。



シンポジウムでは、「ワーク・ライフ・バランス—仕事も私生活も楽しむ方法—」というテーマで、3人の先生方にご講演いただきました。初めに、日本診療放射線技師会の吉川典子理事にご講演いただきました。ご自身の経験と現在の職場での管理職という立場から、働きやすい職場にするために、何に取り組み、部下に対してどのような教育をしているのかを聞くことができ、とてもいい職場だな、尊敬する上司の在り方だなと強い憧れを抱きました。次に、診療放射線技師から熊本市議会議員に転職された高瀬千鶴子先生にご講演いただきました。あまり知らなかった政治のこと、産後ケア事業の詳



細、「どこシル伝言板」など、多くの情報を知ることができました。高瀬先生のモチベーションの高さにも魅了されました。最後に、JCHO熊本総合病院の中原博子技師長より、ご自身の経験談を含めて講演いただきました。仕事も私生活も楽しむためには、メリハリを付け、どちらも充実させることが大事であるというお言葉に、大いに共感しました。とても内容の濃い、興味深い、モチベーションの上がるシンポジウムでした。



特別講演では、「感情をコントロールする～アンガーマネジメント」と題して、放送大学熊本学習センター客員准教授の河添博幸先生にご講演いただきました。まず、心理テストで自分自身の考え方の傾向を知り、その後、怒りの要因について学びました。人が絡むと感情的になりやすいこと、考え方・捉え方による感情の違いがあるため、認知のゆがみが感情を変えてしまうことを知りました。また感情のエクササイズとして、6秒ルールを作り呼吸を整え大切な人を思い浮かべることで、私を主語にして相手に伝えること、小さな親切を心掛けること、一方的に思い込まないことを教えていただきました。講演中も笑いありの和やかな雰囲気でも、とても面白い講演でした。講演後もさまざまな質問が飛び交い、素晴らしい特別講演になりました。

本研修会開催に当たり、ご尽力いただきました九州地域放射線技師会、熊本県放射線技師会の役員の方々に、そしてご参加いただきました全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。

今回は新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない状況下での現地開催となり、参加したくてもできなかった方々には、おわび申し上げます。

来年度の第8回FRT九州研修会は沖縄県で開催致します。来年こそは、ワイワイ懇親会まで楽しめるような世の中になっていることを切に願います。

INFORMATION



第37回日本診療放射線技師学術大会
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23rd AACRT)
第28回東アジア学術交流大会 (28th EACRT)



第11回 **東京への道** Go To TOKYO



城南支部 (第15地区) 原子 満
(公益社団法人東京都診療放射線技師会)



「学会の見どころclick here! と、東京の魅力エリア検索サイト」

いよいよ学術大会開催を来月に控える時期を迎え、実行委員最後の執筆となります。事前参加登録が先月の9月で終了していることを考え、内容に悩みました。この記事は、TOKYO2020オリンピックとパラリンピック開催のはざまであり、西日本中心に大雨特別警報が気象庁から発表され、関東地方にも甚大な被害がもたらされた頃に作成したものです。さらに新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言の実施区域となり、予定されていた対面方式による実行委員会も中止となりました。それでも今後、全国の会員の皆さまと同様に数々の未曾有の災禍を乗り越えて、一致団結して立ち向かっていることでしょう。

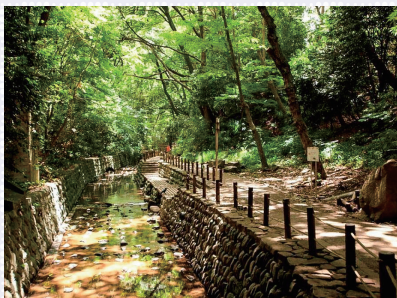
10月以降の学会参加登録は、予定では当日の通常参加費となりますが、市川実行委員長を中心に実りある企画が準備されておりますので、ぜひ、学会ホームページの「学会の見どころclick here!」(<http://web.apollon.nta.co.jp/37jcrt/>) をのぞいてみてください。参加登録者特典となる企画が準備出来次第、告示から内容を確認できるようになっていることでしょう。準備中だったプログラムなどのコンテンツも見ていただき、当日参加登録のきっかけとなれば幸いです。皆さまのご参加をお待ちしております。



ここで、少しだけ城南支部のエリアを紹介させていただきます。地図中、黄色の東京23区南側と神奈川県方面地区となります。この辺りは、空の玄関口である羽田空港や、六本木・新橋・お台場・渋谷・恵比寿といった街並みが挙げられます。自然が豊かでもあり、知る人ぞ知る名勝の等々力渓谷もあります。今はコロナ禍で人流抑制のため行動制限となってしまうかもしれませんが、ネット検索は自由にできます。



GO TOKYO (<https://www.gotokyo.org/jp/index.html>) にアクセスすると東京の観光公式サイトに入れます。東京のエリアごとにガイドがあり、お勧め致します。「東京への道」がシリーズとなり、東西南北・多摩支部と五つのエリアごとの紹介となりましたが、支部間の団結は強く、どんな困難も乗り越えていけると信じています。参加される皆さまには、さまざまな点でご不便をお掛けするかもしれませんが、大会が盛会となるように頑張っておりますので、よろしくお願い致します。



等々力渓谷の遊歩道



虎ノ門横町

コロナとの共生を模索する



東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。今回のオリンピック・パラリンピックは新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言下での開催となりました。しかし、7月23日にオリンピックの開会式が始まると、前半はともかく、子どもたちがたくさんの箱を動かして作った市松模様のオリンピックマーク、ドローンで作ったオリンピックマークからの地球、国立競技場の制御室で劇団ひとりが東京各地のライトアップをする演出など、感動的な企画でした。そして聖火最終ランナーは大坂なおみが務め、ピラミッドのような聖火台から階段が現れ、丸い聖火台が回転してお花のように開き、そこに赤い炎がついた瞬間、私は空気が変わるのを感じました。今回、日本人の活躍は凄まじく、過去最高のメダルラッシュに沸きました。ただ、やはりどこかでわだかまりを感じる大会であったことも確かです。

関係者は、開催に当たり大変なご苦勞をされたと思います。新型コロナウイルス感染症の問題、人権問題、お金の問題、いじめの問題など、こんなにさまざまな問題を抱え開催したオリ

ンピックはないと思います。1年の延期は良かったのか、閉会后にどんな問題が浮上してくるか、後片付けが大きな課題となるものと思われます。

新型コロナウイルス感染症は、今後、どのように終息するのでしょうか。ワクチン接種のペースが思うように進んでいないこと、免疫力の持続期間が不明であること、ウイルスの遺伝子変異のスピードが速いこと、ワクチン接種により人々の行動がコロナ前に戻ってしまうことなど、不確定要素が多い状況にあります。ワクチン接種者からも感染者が出始めています。

日本診療放射線技師会では、緊急事態宣言下での会場型イベント開催は中止しており、Web開催できる講習会などはWeb化を進めています。しかし、告示研修は実技研修の開始が予定より遅れ、認定資格試験も各地域に分散し、何とか開催できる方法はないかと検討を行ってききましたが、本年度1回目は結局1会場でしか開催できなかったことなど苦悩の中にいます。

コロナと共生しながら、何とか前に進む道を模索するしかないと感じています。
(文責：中村 勝)

診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定： 鹿児島 10月10日(日) Web開催

10月・11月の講習会などスケジュールのご案内

- 告示研修（基礎研修）： Web開催 7月31日(土)から
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修： Web開催 10月12日(火)から
※お申し込み成立の日から2022年1月30日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 第49回日本放射線技術学会秋季学術大会 JSRT-JART合同シンポジウム
生殖腺（性腺）防護について考える： 熊本 10月15日(金)
- 放射線被ばく相談員フォローアップセミナー： Web開催 10月24日(日)
- 診療放射線技師基礎技術講習「X線CT検査」： 富山 10月30日(土)
- 第15回JSRT-JART合同公開市民講座
東北からはじまる世界最先端のがん治療： 宮城 11月3日(水・祝)
- 3Dハンズオンセミナー： 東京 11月12日(金)
- 撮影補助具作成セミナー： 東京 11月13日(土)
- 第37回日本診療放射線技師学術大会 JART-JSRT合同シンポジウム
生殖腺（性腺）防護について考える： 東京 11月13日(土)
- Master's eye seminar： Web同時配信 11月25日(木)
- 画像等手術支援認定講習会： Web開催 11月28日(日)

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

事務所 案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。